

公表

事業所における自己評価結果（保育所等訪問）

事業所名		福津子ども発達センター・さくら館				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環 境 制 ・ 整 運 備 営 ・	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		教材の使用については、訪問先に相談した後 使用している。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			相談支援専門員も交えて、ニーズの把握に努 めていく。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、訪問支援員が中心 となり実施している。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		改善につながるよう努めている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○		定期的にアンケートや面談を実施している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○		現在、第三者による外部評価を実施していな い。必要に応じて検討していく。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修の積極的な受講や顧問医による ケースカンファレンス、研修を実施してい る。	今後も定期的な研修を実施し、専門員として の資質向上に努めていく。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○		・担当職員と児童発達支援管理責任者が中心 となり、計画の作成を行なっている。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・サービス等利用計画をもとに計画の作成を 行なっている。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		担任の先生、特別支援コーディネーターの先 生から学校での様子等を事前に伺い、支援方 針の確認を行なっている。	子どもの状況について情報共有を行い、統一 した支援を提供できるよう努めていく。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○		個別支援計画会議、モニタリング会議の中で 共有を図っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー ムなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえた支援を実施してい る。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			計画に沿った支援を提供し、子どもの状況に 応じて定期的に計画の見直しを行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訪問時の様子を報告し、次回の支援について 検討を行なっている。	
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○		クラス運営の妨げにならないよう、授 業の内容やクラスの雰囲気等を事前に確認す るよう努めている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○		記録した後、すぐに報告を行ない、今後の支 援方針の確認を行なっている。	引き続き記録の徹底及び支援の検証・改善に 努めていく。	

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施している。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参画している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		整えている。	今後も他機関と連携し、質の高い支援が提供できるよう努めていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて、引き継ぎ等を実施している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		オンラインを活用しながら、積極的に研修に参加している。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訪問後は、園・学校での様子を保護者に伝えるよう努めている。	引き続き情報共有を行い、共通認識のもと支援を提供していく。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ニーズに応じ、情報提供を行っている。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		事前にサービス内容や目的について説明を行った上で、訪問を実施している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		アセスメントを行い、子どもの意思や保護者の要望などが反映された計画書を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		計画の説明を行った上で同意を得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		助言だけでなく面談を行うなど、個々の状況に合わせた支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○			さくら館が主体となり保護者会を開催することは行っていないが、今後必要に応じて対応を行っていく。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談を受け付けた職員は速やかに児発管や管理者に報告し、迅速に対応できるよう体制を整えている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人ホームページのブログを定期的に更新し、情報を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できるキャビネット内で保管し、情報漏洩がないよう留意している。	
訪問先施設への	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		口頭引継ぎだけでなくLINE等のツールを活用し、情報伝達を行っている。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問時だけでなく、必要に応じて電話などでの対応も行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		子どもの様子について情報共有を行い、今後必要な支援等について一緒に検討している。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		その都度、報告を行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠できるキャビネット内で保管し、情報漏洩がないよう留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		子どもに関する情報共有を行い、専門的な立場からの助言に努めている。	より専門的な立場からの助言が行えるよう、研修等に参加し資質向上に努めていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルに基づき、様々な災害を想定した訓練を定期的実施し、その様子についてはホームページ等で公開している。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案については朝礼や終礼で情報共有を行い、対策案についてもその都度検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する研修を定期的実施している。	今後も定期的な研修を実施し、日頃から適切な支援を提供できるよう努めていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束に関する規定に準じ、やむを得ず実施する場合には保護者への丁寧な説明を行う体制を整えている。	